

大竹市地域公共交通活性化協議会

平成20年3月25日設置
平成21年3月19日連携計画策定



概要

沿岸部を結ぶ「幹線バス」と、支線交通である三ツ石地区乗合タクシーの実証運行を継続する。その他、幹線バスから距離がある地域での支線交通の導入に向け、住民協議を進めながら、必要に応じて実証運行を行う。また、既存路線である栗谷線、坂上線の再編を行う。これら諸施策の実施と並行して利用促進策を展開し、持続可能な公共交通の実現に向けて取り組む。

○コミュニティバス(幹線交通)の運行

JR大竹駅～玖波駅間の公共施設、医療機関・商業施設等を結ぶ「幹線交通」の実証運行を継続する。10月頃に改編予定。

○三ツ石地区乗合タクシーの実証運行(フィーダー交通)

三ツ石地区と幹線バスを結ぶフィーダー交通として「乗合タクシー」の実証運行を継続する。7月に一部ダイヤを改定予定。

○新たなフィーダー交通の導入

幹線から離れた地域の移動サービスを提供するため、地域との協働により検討を進める。また必要に応じ実証運行を行う。

○既存路線の再編・見直し(大竹栗谷線, 坂上線)

【栗谷線】沿線地域の移動手段をどう維持するのか、長期的な視野に立ち根本から検討する。住民検討組織の設置を想定。
【坂上線】利用実態に即してダイヤ改定を行う。

○公共交通の利用促進策の実施

- ・アンケートやワークショップによる利用実態・ニーズの把握
- ・モビリティマネジメント等の実施による啓発活動
- ・チラシ・広報誌等のコンテンツの活用
- ・体験乗車や無料運行による周知 等

